

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	平成 25 年度 第 1 回所沢市みどりの審議会
開 催 日 時	平成 2 5 年 5 月 2 9 日 (水) 午後 3 時 0 0 分 から 午後 5 時 0 0 分まで
開 催 場 所	市役所高層棟 2 階 2 0 3 会議室
出 席 者 の 氏 名	亀山 章、池邊 このみ、荻野 豊、城戸 基秀、木村 智子、 土方 芳夫、永倉 良一、原口 雅人、筒井 雅人、水上 哲朗、 三ツ木 雅秋
欠 席 者 の 氏 名	関口 幸男、坂田 知千
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	
議 題	議題 1 所沢市みどりの基本計画に基づく施策の実施状況について 議題 2 その他
会 議 資 料	次第 資料 1 所沢市みどりの基本計画に基づく施策の実施状況 資料 2 所沢市みどりの基本計画に基づく施策の実施状況調査結果 参考 1 里山保全地域の指定スケジュール (案) 参考 2 「緑の基本計画」の優良事例 40 選の選定について 所沢市みどりの審議会委員名簿 公共施設緑化ガイドライン正誤表
担 当 部 課 名	環境クリーン部長 桑原 茂 環境クリーン部次長 増田 謙二 公園課長 木崎 武 みどり自然課長 関谷 佳和 みどり自然課 主幹 野村 邦昭 副主幹 澤田 孝 主任 末永 貴子 主任 田村 真一 電話 0 4 (2 9 9 8) 9 3 7 3

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
<p>水上委員</p> <p>事務局 (田村主任)</p> <p>事務局 (関谷課長)</p>	<p>1. 開会 みどり自然課 野村主幹の司会により開会。</p> <p>2. 新任委員委嘱状交付 新たに所沢市みどりの審議会委員になられる「永倉 良一 氏」及び「筒井 雅人 氏」に委嘱状の交付を行い、それぞれよりあいさつをいただいた。</p> <p>3. あいさつ 開会にあたり、所沢市環境クリーン部 桑原部長よりあいさつを行った。その後、会議の成立及び会議の公開について報告し、資料確認を行った。 また、傍聴者については、審議会の了承を得たのち、入室していただいた。</p> <p>4. 議題 議題 1 所沢市みどりの基本計画に基づく施策の実施状況について 所沢市みどりの基本計画に基づく施策の実施状況について、資料 1 及び資料 2 に基づき、みどり自然課 田村主任より説明した。なお、説明にあたっては、所沢市みどりの基本計画における基本方針ごとに、重点プロジェクトとして設定されている施策及び目標指標に対する実績値があった施策を中心に行った。質疑応答については、次のとおりであった。</p> <p><基本方針 I の施策に対する質疑応答> 「I - 14 生物の生息状況の把握」について、北野の谷戸において植生調査を実施したとあるが、調査結果を見ることはできるのか。</p> <p>今回実施した調査では、主に希少種を調査しております。調査結果を公表することにより、希少種を盗掘されてしまう恐れもあることから、現時点では、今後作成する保全管理計画のバックデータとして取扱っていきたいと考えております。</p> <p>例といたしまして、シュンラン、サイハイラン等の希少種のデータがあります。</p>

水上委員	一般の植物については、調査されていないのか。
事務局 (田村主任)	今回の調査では、一般の植物についての調査は行っておりません。一般の植物については、所沢市みどりの基本計画を策定するにあたり、基礎調査を実施した経緯があります。現時点では、そのデータを使用しております。
水上委員	今回の調査は、植物に限って行っているが、今後、動植物についての調査を行う必要があると思う。
亀山委員	今のご意見に関連して、資料 2 P.4 の「I - 14 生物の生息状況の把握」の今後の取組みに対する課題において、講習会等が必要であると書かれているが、これは市民が調査することを想定しているのか。
事務局 (田村主任)	植生調査については、みどりの保全活動を行っている地元団体などにお願しておりますが、知識については、ばらつきがあることから、調査等を行っていただく際は、講習等が必要であると考えております。
事務局 (関谷課長)	<p>植生調査を専門家に依頼するとなると委託をしなければなりません。市の厳しい財政の中で、予算を取るのは非常に厳しい状況にあります。そこで、検討した結果、市内で植生調査ができ、協力をいただける団体に昨年度より調査を依頼させていただき、謝礼をお支払しております。</p> <p>今年度につきましても、そのような団体に調査を依頼しておりますが、それ以外の方々にも知識を付けていただきたいと思います、このような表現にしております。</p>
三ツ木委員	調査に協力をしてくれる団体は、NPO 等の団体なのか。学校教育の観点から、市内の中学校や高校の生物関係の部活に調査を依頼するのも一つの方法であると思う。
木村委員	調査に必要な講習等を開催するにあたっては、講習内容について、専門家の意見等を踏まえて検討してほしい。そのような予算は取っていただきたい。
亀山委員	所沢のように動植物が豊かなところでは、いなくなる前に適切な調査を行った方がよい。その際は、やはり予算をとっていただき、専門家に

筒井委員	<p>調査をしていただいた方がよいと思う。</p> <p>「Ⅰ - 1 緑地保全制度に基づく担保性の向上（丘陵等）」と「Ⅰ - 6 緑地保全制度に基づく担保性の向上（平地林等）」の目標値がともに「38ha」となっているが、施策ごとで「38ha」なのか、併せて「38ha」なのか。</p>
事務局 (田村主任)	<p>併せて「38ha」です。参考として、所沢市みどりの基本計画 P. 120 をご覧いただければと思います。</p>
木村委員	<p><基本方針Ⅱの施策に対する質疑応答></p> <p>公共施設緑化ガイドラインが策定されたが、今後、各年度において達成状況などをどのように検証していくのか。</p>
事務局 (関谷課長)	<p>所沢市みどりの基本計画の施策の中には、公共施設緑化ガイドラインが策定されてから実施される施策があります。それらの施策につきましても、目標指標が設定されておりますので、毎年度、実施状況調査を行うことにより、把握していきたいと思っております。</p> <p>また、公共施設に関連する所属で構成される政策マネージャー幹事会において、情報共有を図り、みどりに関する施策を進めていきたいと考えております。</p>
水上委員	<p>「Ⅱ - 9 地域による緑化の推進」について、平成 24 年度の実績値として「3 団体」とあるが、どのような団体がどのような取組みをしているのかがわかるような資料等を提示してもらい、審議会で議論することはできないのか。</p>
亀山委員	<p>施策の取組みには、「①既存制度の見直し」と「②新規制度の検討及び運用」と書いてあるが、目標指標が、「地域緑化団体の数 3 団体」となっているので、この施策がどのようなことを行うものなのかがわかりづらい。</p>
事務局 (関谷課長)	<p>いただいたご意見のとおり、施策の取組みと目標指標の関係がわかりづらいので、見直しが必要であると思っております。</p>
筒井委員	<p>公共施設緑化ガイドラインを策定し、今後はそれに基づいて緑化を推進していくと思うが、実際に緑化する多くは、施設を所管している部課</p>

<p>事務局 (関谷課長)</p>	<p>であり、緑化する予算がないので何か支援をしてほしいといった話が必ずでてくると思う。そのような場合の対応は考えているのか。</p> <p>また、街並み緑化ガイドラインについて、どのように周知していくのか。</p> <p>まずは施設を所管している部課に対して、緑化のお願いをしていきますが、当課においても、別に予算を取っているわけではありませんので、例えば、緑の基金の使途について、財政課と協議しなければならないと思います。</p> <p>街並み緑化ガイドラインの周知につきましては、個人向けとして、各まちづくりセンター等に配架し、広報等でも周知をしたところです。また、今後は、企業等につきましても、個別に配付したいと考えております。</p>
<p>荻野委員</p>	<p>緑の基金の使い方について、みどり自然課が決めることができるのか。</p>
<p>事務局 (関谷課長)</p>	<p>できません。財政課になります。</p>
<p>亀山委員</p>	<p>緑化ガイドラインを作成した際には、関係課との協議の上、了解を得て作成したのだから、緑化をしていただくことを前提に努力していただくように働きかけるものであると思う。</p>
<p>事務局 (桑原部長)</p>	<p>所沢市の特色として、都市近郊にありながら、みどりがとても豊かであるということがあり、所沢市としても、貴重なみどりを重要なものと十分認識しております。また、「マチごとエコタウン所沢構想」を作成する中でも、市民に意識調査をしたところ、マチごとエコタウンで想像する「再生可能エネルギー」、「ゴミの減量化」と共に「みどり」が挙げられました。</p> <p>こうしたことから、平成 26 年度の予算に向けて、財政課をはじめ、関係部署に働きかけをしたいと思います。</p>
<p>池邊委員</p>	<p>景観審議会での取扱いはどうなっているのか。他市においても、公共施設を建設する際は、景観審議会に諮り、景観アドバイザーが、緑化についてもチェックするようなシステムになっているので、景観とのリンクを図った方がよいと思う。</p> <p>開発行為に対する緑化基準についても、せっかく今回策定した街並み</p>

筒井委員	<p>緑化ガイドラインにおいて、美しい緑化を目指すよう質の高い話をして いるのだから、今までの数量だけの話にならないように気を付けていた だきたい。単純に数量だけでなく、沿道景観の視点から指導する必要が ある。</p> <p>埼玉県は、大店法（大規模小売店舗立地法）について、市に事務移譲 しているのか。</p> <p>事務移譲されているかはわかりませんが、埼玉県の場合、景観は都市 整備部、みどりは環境部、大店法は産業労働部に分かれており、繋がり はほとんどありません。</p>
池邊委員	<p>大店法の届出については、事前協議や大規模小売店舗立地審議会を 経て、県が意見する機会がある。その際、店舗が立地される市が、意見 することが重要であるので、例えば、街並み緑化ガイドラインに沿った 緑化をしてくださいといったことを申し入れできるシステムを是非とも 作って、運用していただきたい。もし、大店法の審議会に景観や緑化に 対する委員がいなければ、入れてもらうように働きかけをしていただき たい。</p>
事務局 (関谷課長)	<p>景観審議会を所管している課とは、部が違いますが、市としましては、 連携が取れると思いますので、検討させていただきたいと思います。</p>
三ツ木委員	<p>先日、木村委員よりご案内があった景観フォーラムに参加したが、景 観に関する話だけで、緑化ガイドラインの話はなかった。市のみどり自 然課と都市計画課がもう少し連携を取っていただきたいと思う。</p>
荻野委員	<p><基本方針Ⅲの施策に対する質疑応答></p> <p>所沢カルチャーパークについては、平成 28 年度までに施設整備完了 を目指すということであるが、それまでは部分開園ということか。</p>
事務局 (木崎課長)	<p>はい、そのとおりです。</p>
荻野委員	<p>以前よりオオタカがいるという話があるが、現在もいるのか。</p>
事務局 (木崎課長)	<p>平成 14 年頃まで調査をしておりましたが、その後は調査をしており ません。しかし、度々、飛んでいる姿を目撃したという情報が寄せられ</p>

<p>荻野委員</p>	<p>しております。</p> <p>カルチャーパークが開園することによって、オオタカがいなくなるといったことはあるのか。</p>
<p>事務局 (木崎課長)</p>	<p>そういったことはございません。</p> <p>カルチャーパークのオオタカにつきましては、営巣中心域を調べており、基本的な保存の考えを持っておりますので、自然を活かした環境整備を行っていく予定です。</p>
<p>池邊委員</p>	<p>「Ⅲ - 9 地域のニーズに対応した個性ある公園づくり」の施策の取組みの文中に、「個性ある公園の再配置や整備を検討する。」とあるが、近年、公園の再生・改修などと言われているにもかかわらず、再配置と整備を行うのか。言葉だけを見ると再生や改修を行わず、再配置か整備を行うと捉えてしまうが、まずは再生や改修ではないのか。</p>
<p>事務局 (木崎課長)</p>	<p>文章の表現につきましては、見直しをいたします。</p>
<p>木村委員</p>	<p><基本方針Ⅳの施策に対する質疑応答></p> <p>様々な講座を開催しているが、みどり自然課の職員が運営を行っているのか。私が所属している NPO では、武蔵野市の緑化（園芸）講座を担当させていただいているが、市の職員だけではなかなかアイデア出しが難しい部分もある。周知の仕方、魅力的な講師、講座の内容などについては、様々な方の協力を得ながら行っていくのがよいと思う。</p>
<p>事務局 (田村主任)</p>	<p>講座の運営につきましては、基本的にみどり自然課の職員が行っており、内容につきましては、専門の講師に協力をいただいております。</p> <p>今後につきましても、ご意見いただいたように様々な方のご協力を得ながら行っていきたいと思います。</p>
<p>木村委員</p>	<p>講座を開催することによって、みどりのパートナーや公園を管理してくれる方などが増える可能性があると思うので、内容と共にどのような人が何をしてくれるのかといった結果を目標の一つとして挙げながら取り組むことで、予算の少ない中でもうまく進むのではないかと思う。ぜひ検討していただきたい。</p>
<p>水上委員</p>	<p>「Ⅳ - 9 自然観察会等の実施」について、具体的に決まっているのか。</p>

事務局 (関谷課長)	まだ決まっておりません。
水上委員	自然の中には、植物もあれば動物もいるので、それぞれの分野に精通した方を講師として招いて、一緒に開催できたらよいと思う。
池邊委員	目標値が、講座等の開催回数になっているが、他市の指標項目を見るとほとんどが参加人数となっているので、改訂の際などには見直していただきたい。
池邊委員	<p>「IV - 13 みどりを育てる技術の普及」の施策の取組みの文中で、「緑化技術」とあるが、家庭における記述であるので「緑化手法」が適していると思う。</p> <p>議題2 その他</p> <p>報告事項として、みどり自然課 田村主任より、次の4点について報告した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山保全地域の指定について（参考1） ・「緑の基本計画」の優良事例40選の選定について（参考2） ・「緑化ガイドライン」の訂正について ・「所沢すみどりの審議会」の今後の開催予定について <p>質疑応答については、次のとおりであった。</p> <p><質疑応答></p>
荻野委員	「里山保全地域の指定」について、スケジュールに7月中旬頃、「区域の見直し」とあるが、もし、今回予定している区域の中で、地権者が反対した箇所があった場合は、区域から除くのか。また、区域近辺で賛成してくれる地権者がいた場合は、区域に含めるのか。
事務局 (田村主任)	はい、そのとおりです。
荻野委員	今回予定している区域、約6.6haの区域取りの基本的な考え方を教えていただきたい。
事務局 (田村主任)	区域取りにつきましては、地形、一体的なみどり、町名境などを考慮して決めております。

<p>事務局 (関谷課長)</p>	<p>北野の谷戸という名称からも分かるように、一つの集水域を考えております。また、自然的土地利用がされていない土地を除き、地形地物により区域取りをしております。</p>
<p>原口委員</p>	<p>今回のように、数字だけで議論するのは、非常に難しいので、具体的に分かるようなものとして、写真などを資料に入れていただきたい。</p>
<p>木村委員</p>	<p>委員の中には、所沢市内に住んでいない方もいらっしゃるのでは、市内でどのようなイベントが行われているのかを把握することが難しいと思う。みどりに関連するイベントやおもしろいイベントの情報をメールでお互いにやり取りしたいと思うが、皆様いかがでしょうか。</p>
<p>亀山委員</p>	<p>メールの管理はとても難しいが、市を介して送っていただけるとあればよいと思う。市の方で考えていただきたい。</p> <p>5. 閉会</p>